

ポートフォリオの見直しについて

「スカイオーシャン・サテラップ（株式型）」につきまして、以下のとおりポートフォリオの見直しを11月20日を基準日として実施いたしましたのでご報告いたします。

見直しの概要

国内株式資産としてこれまで組み入れていた「FOFs用JPX日経インデックス400ファンドS（適格機関投資家専用）」につき、分散投資の観点からその組み入れ比率を引き下げ、代替として「国内株式アクティブバリューファンド（適格機関投資家専用）」と「FOFs用国内株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）」を新たに組み入れました。

図表1 投資対象ファンド別の目標配分比率

資産	投資対象ファンド	変更前	変更後	変化幅
国内株式	FOFs用JPX日経インデックス400ファンドS（適格機関投資家専用）	15.3%	6.6%	-8.7%
	FOFs用国内株式エンハンス運用戦略ファンド（適格機関投資家専用）	10.2%	10.2%	—
	FOFs用中小型株式ファンドS（適格機関投資家専用）	3.4%	3.4%	—
	国内株式アクティブバリューファンド（適格機関投資家専用）	—	2.9%	+2.9%
	FOFs用国内株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	—	5.8%	+5.8%
先進国株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	25.0%	25.0%	—
新興国株式	Wellington Emerging Markets Research Equity Fund Class J	4.4%	4.4%	—
国内リート	FOFs用J-REITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	6.6%	6.6%	—
海外リート	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）	5.8%	5.8%	—
MLP	FOFs用MLPインデックスファンド（適格機関投資家専用）	0.8%	0.8%	—
ヘッジファンド （安定収益追求）	Global Absolute Return Strategies Fund-Class D ^{A,H,JPY}	1.4%	1.4%	—
	FOFs用 FRM ダイバーシファイド・リンク・ファンドS（適格機関投資家専用）	4.6%	4.6%	—
	FOFs用KIM マルチストラテジー・リンクファンドS（適格機関投資家専用）	3.1%	3.1%	—
	FOFs用ピクテ マルチストラテジー・リンクファンドS（適格機関投資家専用）	4.6%	4.6%	—
	マルチ・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家専用）	5.7%	5.7%	—
	Man Numeric Integrated Alpha Market Neutral - Class A	1.4%	1.4%	—
	FOFs用米国株式LSファンドS（適格機関投資家専用）	1.7%	1.7%	—
ヘッジファンド （イベントリスク対応）	FOFs用MAN AHL ダイバーシファイド・リンクファンドS（適格機関投資家専用）	1.4%	1.4%	—
金	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	4.6%	4.6%	—

※ 目標配分比率は2018年11月20日時点のものであり、適宜見直しをおこないます。また、実際の組入比率と異なる場合があります。

※ 目標配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

スカイオーシャン・サテラップ[®]（株式型）

新規組入ファンドのご紹介

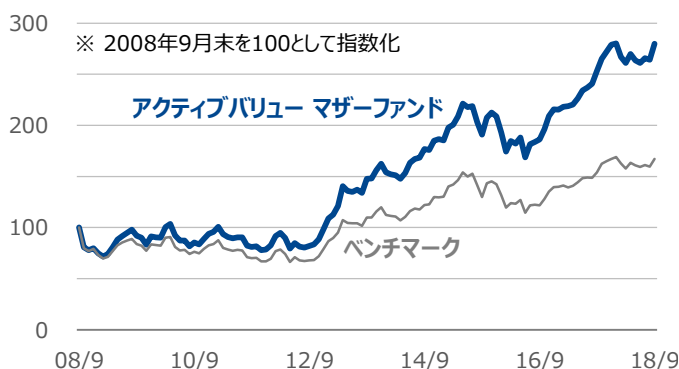
国内株式① 国内株式アクティブバリューファンド（適格機関投資家専用）

ファンドの
特色

- 主として「アクティブバリューマザーファンド」への投資を通じて、わが国の取引所に上場されている株式に投資します。
 - 長期的な観点から、わが国の株式市場全体（TOPIX（東証株価指数））の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用をおこないます。
 - ファンドメンタルズ*分析とバリュエーション分析により、割安と判断される銘柄に投資します。
* 利益水準、キャッシュフロー、資産価値などの企業の現在あるいは将来における内在価値をいいます。
 - 運用は、日興アセットマネジメントがおこないます。
- ※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。

図表2 「アクティブバリュー マザーファンド」運用実績

(2008年9月末～2018年9月末、月次)



	累積 リターン	リターン (年率)	リスク (年率)	投資効率 (リターン÷リスク)
マザー ファンド	179.7%	10.8%	19.0%	0.57
ベンチ マーク	67.1%	5.3%	17.8%	0.30

※ リスクとリターンは、算出期間の月次騰落率を基に年率換算。

※ 「アクティブバリュー マザーファンド」の実績は運用報酬等控除前。ベンチマークはTOPIX（東証株価指数）。

※ 上記は「国内株式アクティブバリューファンド（適格機関投資家専用）」のマザーファンドの運用実績であり、「国内株式アクティブバリューファンド（適格機関投資家専用）」の運用実績ではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(出所) 日興アセットマネジメントのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

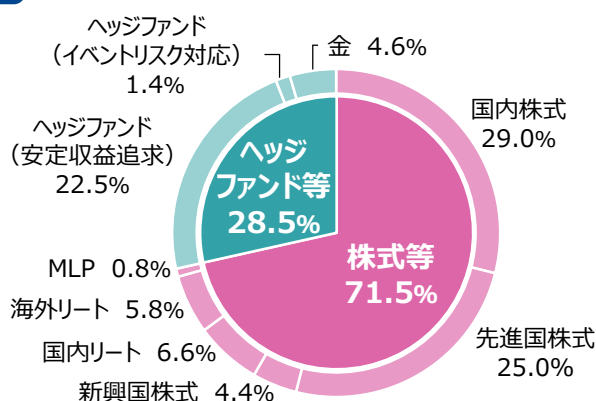
国内株式② FOFs用 国内株式インデックス・ファンドS（適格機関投資家専用）

ファンドの
特色

- わが国の取引所に上場されている株式に投資します。
 - 東京証券取引所市場第一部に上場されている銘柄に分散投資をおこない、TOPIXに連動する投資成果を目標として運用をおこないます。
 - 運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメントがおこないます。
- ※ 資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。

目標資産配分比率（2018年11月20日現在）

図表3 目標資産配分比率



※ 目標資産配分比率は2018年11月20日時点のものであり、適宜見直しをおこないます。また、実際の組入比率と異なる場合があります。

※ 目標資産配分比率は、端数処理の関係で合計値が100%とまらない場合があります。また、変化幅は端数処理の関係で数値が異なる場合があります。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。

スカイオーシャン・サテラップ[®]（株式型）

ファンドの投資リスク

＜基準価額の変動要因＞

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品(コモディティ)の価格変動リスク、金上場投信の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分にかかるリスク、ヘッジファンドの運用手法にかかるリスク、仕組み債券にかかるリスク、ブローカーの信用リスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

＜その他の留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

申込	申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時まで。	決算・分配	決算日	毎年2月17日（休業日の場合は翌営業日）。
	購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日		収益分配	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入時	購入単位	販売会社が定める単位。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。	その他	信託期間	原則として、2016年3月22日（設定日）から2026年2月17日まで。
	購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額。 （基準価額は1万口当たりで表示しています。）		課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度（NISA）および未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
換金時	換金単位	販売会社が定める単位。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。			
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額。			
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。			

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

スカイオーシャン・サテラップ[®]（株式型）

ファンドの費用

お客さまが直接的にご負担いただく費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に 3.24%（税抜3.0%） を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	
	当該ファンド（a）	純資産総額に対して 年率1.4688%（税抜1.36%）
	投資対象とする投資信託証券（b）	純資産総額に対して年率0.15%～0.50%程度（税込）
	実質的な負担（a+b）	純資産総額に対して 年率1.62%～1.97%程度（税込） ※ この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組み入れ状況により変動します。なお、投資対象ファンドにより別途運用実績にもとづき計算される成功報酬額がかかる場合があります。
	その他の費用・手数料	
有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約にともなう信託財産留保額等をその都度、監査費用、ファンドが実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等を日々、ファンドが負担します（投資対象ファンドにおいて負担する場合があります。）。 これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。		

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。
また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第2831号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会
ホームページ： <http://www.soam.co.jp/>
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社 [募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

商号等		加入協会	
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者： 関東財務局長（金商）第1977号	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関： 関東財務局長（登金）第36号	○	○

当資料の取扱いに関する留意事項

◆当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。◆ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◆投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクをとまいます。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。◆投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。◆当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。◆当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。◆当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。